



## 2023年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年5月12日

上場会社名 株式会社グリーンズ 上場取引所 東 名  
 コード番号 6547 URL <https://www.kk-greens.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村木 雄哉  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 伊藤 浩也 TEL 059(351)5593  
 四半期報告書提出予定日 2023年5月12日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年6月期第3四半期の連結業績（2022年7月1日～2023年3月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年6月期第3四半期	26,891	51.0	2,856	—	2,690	—	2,419	—
2022年6月期第3四半期	17,807	49.2	△2,585	—	△2,463	—	△2,503	—

(注) 包括利益 2023年6月期第3四半期 2,425百万円 (—%) 2022年6月期第3四半期 △2,499百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年6月期第3四半期	179.12	166.94
2022年6月期第3四半期	△194.40	—

(注) 2022年6月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載していません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年6月期第3四半期	25,015	3,591	14.4
2022年6月期	25,932	1,347	5.2

(参考) 自己資本 2023年6月期第3四半期 3,591百万円 2022年6月期 1,347百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年6月期	—	0.00	—		
2023年6月期（予想）				9.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式（非上場）の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

### 3. 2023年6月期の連結業績予想（2022年7月1日～2023年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,000	37.6	3,100	—	2,900	—	2,600	—	181.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、四半期決算短信（添付資料）7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年6月期3Q	12,886,200株	2022年6月期	12,886,200株
② 期末自己株式数	2023年6月期3Q	9,742株	2022年6月期	9,742株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年6月期3Q	12,876,458株	2022年6月期3Q	12,876,458株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(参考) 種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりであります。

A種優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年6月期	0.00	0.00	0.00	27,945.21	27,945.21
2023年6月期	0.00	0.00	0.00		
2023年6月期(予想)				40,000.00	40,000.00

B種優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年6月期	0.00	0.00	0.00	27,945.21	27,945.21
2023年6月期	0.00	0.00	0.00		
2023年6月期(予想)				40,000.00	40,000.00

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7
3. 補足情報	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2022年7月1日から2023年3月31日まで）における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症に伴う行動制限が段階的に緩和され、感染抑制との両立による経済や社会活動の正常化に向けた動きが強まりました。大規模イベントの再開や全国旅行支援の開始、国際的な人の往来に関する水際措置の段階的緩和などにより人流は増加し、景気回復に向けた動きが進む一方、ロシア・ウクライナ情勢の長期化、円安進行や金融資本市場の変動、資源高の影響によるエネルギー価格や原材料価格の高騰による物価上昇など、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

ホテル業界におきましては、2023年4月28日に観光庁が公表している最新の宿泊旅行統計調査（2023年2月第2次速報、2023年3月第1次速報）によりますと、2023年2月の延べ宿泊者数は4,114万人泊（前年同月比+76.7%、2019年同月比△5.5%）、3月は4,973万人泊（前年同月比+48.6%、2019年同月比△2.8%）と、ほぼコロナ禍以前に戻り、前年を大幅に上回る水準で推移しております。

このような事業状況の下、当社運営ホテルにおける月次の客室稼働率は、新型コロナウイルス感染症第7波、第8波の感染拡大期においても大きく落ち込むことなく前年同期の各月を上回り、2022年9月以降は、コロナ禍以前の2019年6月期同月と同水準の稼働率で推移いたしました。また月次の客室単価は、2019年6月期同月と比して比較的客室単価の高い都市等への出店割合が増加したこと、2023年1月以降も継続した全国旅行支援の影響等により2019年6月期同月を大きく上回り推移しております。

当社グループにおいて宿泊特化型ホテルを中心に全国で展開している「チョイスブランド」では、2021年7月5日開業のコンフォートイン那覇泊港（沖縄県那覇市）、2021年10月14日開業のコンフォートホテル名古屋金山（愛知県名古屋市）、2022年3月23日開業のコンフォートホテル高松（香川県高松市）、2022年12月14日開業のコンフォートホテル四日市（三重県四日市市）の当第3四半期連結累計期間における売上高の貢献がありました。一方で当第3四半期連結累計期間においてコンフォートホテル長崎（長崎県長崎市、2022年11月30日閉店）、コンフォートホテル長野（長野県長野市、2022年12月11日閉店）2店舗を閉店いたしました。営業面においては、各店舗地域の需要動向に合わせたレベニューマネジメントを強化し、各地域の全国旅行支援への対応、販促強化を図った結果、当事業の売上高は前年同期比57.4%増の21,958百万円となり、客室稼働率は前年同期比11.8ポイント増の82.5%、客室単価は前年同期比32.8%増の8,026円となりました。

三重県・東海地方を中心に地域特性に合わせて宴会場等を併設したシティホテルや宿泊特化型ホテルを展開している「オリジナルブランド」においては、2021年7月30日開業のhotel around TAKAYAMA（岐阜県高山市）の当第3四半期連結累計期間における売上高の貢献があった一方、中長期的な観点から事業環境を見極め、ホテルエコノ金沢片町など7店舗を閉店いたしました。営業面においては、堅調な設備工事やメンテナンス等のビジネス需要の取り込み、各店舗地域の需要動向に合わせたレベニューマネジメントの強化、全国旅行支援への対応等を進めた結果、売上高は前年同期比27.9%増の4,932百万円となり、客室稼働率は前年同期比10.0ポイント増の77.0%、客室単価は前年同期比17.7%増の6,270円となりました。

なお、当社グループ全体の客室稼働率は前年同期比11.5ポイント増の81.5%、客室単価は前年同期比30.6%増の7,717円、ホテル軒数は97店舗、客室数はチョイスブランド11,821室、オリジナルブランド2,583室の合計14,404室となっております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高26,891百万円（前年同期比51.0%増）、営業利益2,856百万円（前年同四半期は営業損失2,585百万円）、経常利益2,690百万円（前年同四半期は経常損失2,463百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益2,419百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失2,503百万円）となりました。

(注) 1. 2023年1月に組織変更を実施し、ブランド別の管理を行うこととなったため当第3四半期よりブランド別に開示しております。なお、従前開示しておりました事業部別の所属店舗とブランド別での所属店舗に変更はございません。

2. 文中記載の客室稼働率ならびに客室単価は、当第3四半期連結累計期間における数値となります。

なお月別の数値に関しましては当社ホームページに掲載しております。

株式会社グリーンズ <https://www.kk-greens.jp/>

（2）財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における資産につきましては、25,015百万円（前連結会計年度末25,932百万円）と、917百万円減少いたしました。

うち流動資産は、12,075百万円（同13,159百万円）と、1,084百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金の減少によるものであります。

固定資産は、12,939百万円（同12,772百万円）と167百万円増加いたしました。これは主に建物の増加によるものであります。

負債につきましては、21,424百万円（同24,585百万円）と3,161百万円減少いたしました。

うち流動負債は、10,200百万円（同16,583百万円）と6,382百万円減少いたしました。これは主に短期借入金の減少によるものであります。

固定負債は、11,223百万円（同8,002百万円）と3,221百万円増加いたしました。これは主に長期借入金の増加によるものであります。

純資産につきましては、3,591百万円（同1,347百万円）と、2,244百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金の増加によるものであります。この結果、自己資本比率は14.4%（前連結会計年度末5.2%）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年2月13日に公表いたしました2023年6月期連結業績予想を修正しております。詳細については、本日（2023年5月12日）公表いたしました「2023年6月期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,015,145	8,052,805
売掛金	1,981,839	2,870,445
原材料及び貯蔵品	102,008	114,028
前払費用	971,809	965,018
その他	90,812	73,088
貸倒引当金	△1,680	—
流動資産合計	13,159,936	12,075,386
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,058,180	4,514,310
工具、器具及び備品(純額)	442,212	438,607
土地	1,815,257	1,828,655
リース資産(純額)	197,987	185,198
建設仮勘定	2,122,834	—
有形固定資産合計	6,636,473	6,966,771
無形固定資産	140,698	125,894
投資その他の資産		
投資有価証券	59,795	68,603
長期貸付金	18,681	12,121
差入保証金	5,784,034	5,658,828
その他	174,082	142,709
貸倒引当金	△41,000	△35,000
投資その他の資産合計	5,995,594	5,847,263
固定資産合計	12,772,766	12,939,929
資産合計	25,932,702	25,015,315

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	949,587	1,065,645
短期借入金	9,600,000	5,600,000
1年内返済予定の長期借入金	3,780,887	823,713
未払金	866,836	1,033,309
未払費用	579,015	619,591
未払法人税等	64,769	47,667
未払消費税等	382,263	314,499
賞与引当金	-	282,260
その他	359,971	413,747
流動負債合計	16,583,331	10,200,434
固定負債		
長期借入金	7,158,337	10,433,112
資産除去債務	563,783	547,372
その他	280,183	243,272
固定負債合計	8,002,305	11,223,757
負債合計	24,585,636	21,424,192
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	3,433,240	3,251,596
利益剰余金	△2,170,244	249,346
自己株式	△8,917	△8,917
株主資本合計	1,354,078	3,592,025
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△7,012	△901
その他の包括利益累計額合計	△7,012	△901
純資産合計	1,347,065	3,591,123
負債純資産合計	25,932,702	25,015,315



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2022年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)
売上高	17,807,248	26,891,336
売上原価	17,023,317	19,621,066
売上総利益	783,931	7,270,270
販売費及び一般管理費	3,369,319	4,413,850
営業利益又は営業損失(△)	△2,585,388	2,856,419
営業外収益		
受取利息	429	316
助成金収入	437,151	82,172
その他	66,220	66,817
営業外収益合計	503,800	149,306
営業外費用		
支払利息	78,186	69,170
支払手数料	175,882	—
株式交付費	68,650	—
借入手数料	2,652	201,263
その他	56,248	45,072
営業外費用合計	381,621	315,506
経常利益又は経常損失(△)	△2,463,208	2,690,219
特別利益		
固定資産売却益	8,897	43,615
特別利益合計	8,897	43,615
特別損失		
固定資産除却損	1,248	27,062
解体撤去費用	—	239,568
特別損失合計	1,248	266,630
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△2,455,559	2,467,204
法人税等	47,613	47,613
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△2,503,173	2,419,591
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,503,173	2,419,591

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2022年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△2,503,173	2,419,591
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,375	6,110
その他の包括利益合計	3,375	6,110
四半期包括利益	△2,499,798	2,425,701
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,499,798	2,425,701

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じた金額に、繰延税金資産の回収可能性を考慮しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書に記載した(追加情報)(新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する会計上の見積り)の仮定に重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、ホテル事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

## 3. 補足情報

(生産、受注及び販売の実績)

(1) 生産実績

該当事項はありません。

(2) 受注実績

該当事項はありません。

(3) 販売実績

当第3四半期連結累計期間の販売実績は次のとおりであります。なお、当社グループはホテル事業の単一セグメントであるため、ブランド別に記載しております。

ブランド及び事業の名称	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)	前年同期比 (%)
チョイスブランド (千円)	21,958,607	157.4
オリジナルブランド及びその他の 事業 (千円)	4,932,728	127.9
合計 (千円)	26,891,336	151.0

- (注) 1. 2023年1月に組織変更を実施し、ブランド別の管理を行うこととなったため当第3四半期よりブランド別に開示しております。なお、従前開示しておりました事業部別の所属店舗とブランド別での所属店舗に変更はございません。
2. 事業部門間の取引については相殺消去しております。
3. 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は、当該割合が100分の10以上の相手先がないため、記載を省略しております。

(「継続企業の前提に関する注記」の記載解消について)

当社は、新型コロナウイルス感染症による業績影響に対する資金面の対応として、既存契約の借換えを含む総額17,500百万円(うち3,000百万円は資本的劣後ローン)のシンジケートローン契約を締結いたしました。当該契約の一部の返済期日が2023年3月に到来することから、借入金の返済等の資金繰りに懸念が生じ、継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる状況が存在しておりました。

当社グループは当該状況の解消に向け、感染防止対策と社会経済活動の再開の両立の動きにより正常化が進む国内需要に対し、各店舗地域の動向に合わせたレベニューマネジメントの強化、効率的な店舗運営、自治体に対する一棟貸し、また2022年10月以降の各地域の全国旅行支援への対応や販促強化の結果、2023年6月期第3四半期において、売上高26,891百万円、営業利益2,856百万円、経常利益2,690百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益2,419百万円を計上しました。

このような経営状況、業績推移、また今後の見通しを踏まえ、金融機関との協議の結果、返済期日が2023年3月に到来するシンジケートローン契約について、契約金額及び最終返済期日の見直しを含む総額13,000百万円(うち3,000百万円は資本的劣後ローン)にて契約を更新したことで、借入金の返済等の資金繰りの懸念が解消しました。

上記を踏まえ、当社グループでは、当第3四半期連結会計期間末において継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる状況は解消したと判断し、「継続企業の前提に関する注記」の記載を解消いたしました。